

1. 科目名 (単位数)	教育行政学特論 (2 単位)	池袋	3. 科目番号	EDMP5238
2. 授業担当教員	新井 秀明			
4. 授業形態	演習		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	本講義では、教育行政学の理論上の問題を検討するとともに、個人々が享受してきた教育行政・制度に関するものの見方や考え方を問い直すことを目的とする。さらに、今日の教育行政学が対象とすべき教育行政の当面している実践的な諸問題について、文献、資料等を通して検討し、問題解決に向けた討議する力・提案する力を養う。			
8. 学習目標	1. 現代日本の教育行政の歴史の変遷、課題等について批判的に検討した上で、その経緯や意義について説明することができる。 2. 現代日本の教育行政の多様な機能を理解し、その役割について理解した上で、説明することができる。 3. 現代日本の教育行政の政策的、理論的課題について認識を深め、自ら課題を見つけ出し、発表することができる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内容について、毎回800字程度のコメントを書いて提出する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】最初の授業で指示する。 【参考書】小川正人・勝野正章編『(改訂版) 教育行政と学校経営』、放送大学教育振興会、2016 勝野正章編『教育の法制度と経営』、学文社、2020 横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024 勝野正章ほか編『教育小六法 各年度版』、学陽書房			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 出席率 20%、小課題レポート、最終レポートを総合的に判断する。 ○評定の方法 出席率の他、小課題レポート、最終レポートの内容で中心に評価する。			
12. 受講生へのメッセージ	戦後日本の教育行政の歴史を振り返り、特に 1980 年代から現在に続く教育行政の新しい展開と課題について、資料を用いながら多面的に考察する。			
13. オフィスアワー	授業終了後またはメールで行う。			
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	戦後の教育行政制度の成り立ち			
	【学習の目標】戦後の教育行政制度がどのようにして構成されたのか、その歴史的経緯を学習する。 【学習の内容】戦後の教育行政制度がどのようにして構成されたのか、その経緯を調べる。 【キーワード】教育行政、戦後の教育改革、教育の民主化、教育基本法 (旧法)、学校教育法 【学習の課題】教育行政、戦後の教育改革、教育の民主化、教育基本法 (旧法)、学校教育法等の内容を調べる。 【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024、<第1章> 【学習する上での留意点】戦後の教育改革と教育行政制度の展開に留意する。			
2. テーマ	戦後の学校教育制度の改革			
	【学習の目標】戦後の学校教育改革で、学校教育制度は単線型に変わったが、その改革の経緯を学習する。 【学習の内容】学校教育制度は、戦前の複線型から戦後教育改革による単線型へと大きく変わったが、その内容を学習する。 【キーワード】複線型学校教育制度、単線型学校教育制度、教育の機会均等、男女平等 【学習の課題】複線型学校教育制度、単線型学校教育制度、教育の機会均等、男女平等の用語を使って、学校教育制度を説明する。 【参考文献】木村元『学校の戦後史』岩波書店、2015 【学習する上での留意点】諸外国との学校体系の違いに留意する。			
3. テーマ	教育を受ける権利と公教育制度			
	【学習の目標】戦後の公教育制度の基本原則・しくみと教育保障の課題を学習する。 【学習の内容】戦後の公教育における義務性、無償性、中立性等の基本原則としくみ、不登校、外国につながる子の教育保障の課題を学習する。 【キーワード】義務性、無償性、中立性、日本の公教育制度、不登校、外国につながる子の教育保障 【学習の課題】戦後日本の公教育の原則・しくみを学び、不登校、外国につながる子の教育保障の課題を調べる。 【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、八千代出版、2024、<第6章> 【学習する上での留意点】不登校、外国につながる子の教育保障の課題を事例をあげて考える。			
4. テーマ	教育行政の独立性と教育委員会制度			
	【学習の目標】戦後の教育行政において重視された教育委員会制度の有する意味を学習する。 【学習の内容】一般行政とは区別された教育委員会制度の中で、教育行政が運営される公教育の中立性の理念を学習する。 【キーワード】教育の中立性、教育委員会制度、教育長、地方教育行政法、レイマン・コントロール、総合教育会議 【学習の課題】教育の中立性、地方教育行政法、レイマン・コントロール等の語を用いて、教育委員会制度の意味を説明する。 【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、<第3章> 【学習する上での留意点】首長、総合教育会議、教育長、教育委員会等の語を用いて、近年の法制度の変化を説明する。			
5. テーマ	中央における教育行政機関の組織と運営			

	<p>【学習の目標】国レベルの教育行政機関の組織と運営を学習する。</p> <p>【学習の内容】文部科学省における教育行政の組織と運営、及び政策立案と執行の過程を学習する。</p> <p>【キーワード】文部科学省、組織、運営、政策立案</p> <p>【学習の課題】文部科学省、組織、運営、政策立案等の用語を用いて、中央の教育行政の運営過程を学習する。</p> <p>【参考文献】小川正人・勝野正章編『(改訂版) 教育行政と学校経営』放送大学教育振興会、2016、&lt;第2章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】中央教育審議会等の文部科学省の教育政策立案の事例を調べ、その役割を考える。</p>
6. テーマ	教育費問題と教育の機会均等保障
	<p>【学習の目標】教育費の家計負担、経済困窮家庭への修学支援、今後の教育費政策のあり方を学習する。</p> <p>【学習の内容】教育費の家計負担、経済困窮家庭への修学支援等の現状と、今後の教育費政策の課題を学習する。</p> <p>【キーワード】教育の機会均等、義務教育無償、教育格差、生活保護、就学援助、子どもの貧困対策法、教育費政策</p> <p>【学習の課題】教育の機会均等、義務教育無償、教育費政策等の用語を使って、教育費のあり方を説明できる。</p> <p>【参考文献】小川正人・勝野正章編『(改訂版) 教育行政と学校経営』放送大学教育振興会、2016、&lt;第8章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】教育費の無償化の範囲や学校段階、公私立の違いなどに留意する。</p>
7. テーマ	教育課程行政と教科書制度
	<p>【学習の目標】教育課程の編成について、国及び地方公共団体、学校の果たす役割について学習する。</p> <p>【学習の内容】教育課程の編成について、国及び地方自治体、学校がどのような役割を担っているかを学習する。</p> <p>【キーワード】教育課程行政、教科書制度</p> <p>【学習の課題】教育課程行政、教育課程経営、教科書制度等の用語を調べ、国及び地方自治体、学校の役割を学習する。</p> <p>【参考文献】勝野正章編『教育の法制度と経営』、学文社、2020、&lt;第7章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】教育課程において、国及び地方自治体、学校の各役割を区別するよう留意する。</p>
8. テーマ	学習指導要領の歴史の変遷
	<p>【学習の目標】学習指導要領は、その時代を反映する。学習指導要領（試案）から始まった戦後の学習指導要領の変遷を学習する。</p> <p>【学習の内容】戦後社会の変化を振り返りながら、学習指導要領の歴史の変遷を学習する。</p> <p>【キーワード】学習指導要領、試案、法的拘束力、最低基準説</p> <p>【学習の課題】学習指導要領、試案、法的拘束力、最低基準説等の用語を用いて、戦後の学習指導要領の変遷を説明する。</p> <p>【参考文献】木村元『学校の戦後史』岩波書店、2015</p> <p>【学習する上での留意点】戦後社会の変化に伴って、学習指導要領の内容も大きく変化してきたことに留意する。</p>
9. テーマ	学校組織と学校経営
	<p>【学習の目標】学校組織の特性を理解し、望ましい学校経営を学習する。</p> <p>【学習の内容】学校組織の特性を理解し、校長を中心とする民主的で自律的な学校経営を実現させ、学校教育の質の向上を経営の視点からとらえ直すことを学習する。</p> <p>【キーワード】学校の組織特性、自律的学校経営、校務分掌、職員会議</p> <p>【学習の課題】学校の組織特性、自律的学校経営等の用語を用いて、望ましい学校経営のあり方を説明する。</p> <p>【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、&lt;第7章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】教育の質の向上に向けた学校組織と学校経営の変容に留意する。</p>
10. テーマ	開かれた学校づくり（学校と地域の連携）
	<p>【学習の目標】「開かれた学校づくり」政策の背景・展開を理解し、現状・課題を学習する。</p> <p>【学習の内容】「開かれた学校づくり」政策の背景、学校運営協議会制度、地域学校協働活動の現状と課題を学習する。</p> <p>【キーワード】学校と地域の連携、開かれた学校づくり、学校運営協議会制度、地域学校協働活動</p> <p>【学習の課題】地域と学校の連携のあり方を、学校運営協議会等の現状・課題から説明する。</p> <p>【参考文献】勝野正章編『教育の法制度と経営』学文社、2020、&lt;第6章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】日本で「開かれた学校」が、なぜ問題になるのかを考える。</p>
11. テーマ	学校経営をめぐる政策動向
	<p>【学習の目標】選択と競争に基づく教育改革による教育改革、学校の自主性・自律性と教育の質保証の問題から学校経営の政策動向を考察する。</p> <p>【学習の内容】選択と競争に基づく教育改革（教育の市場化）、学校の自主性・自律性と教育の質保証（アカウントビリティ政策）</p> <p>【キーワード】キー・コンピテンシー、教育の市場化、学校選択制、学校の自主性・自律性、アカウントビリティ、学力テスト</p> <p>【学習の課題】学校経営、教育の市場化、学校の自主性・自律性、アカウントビリティ等の意味を説明できるよう学習する。</p> <p>【参考文献】小川正人・勝野正章『(改訂版) 教育行政と学校経営』&lt;第9章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】現代の学校経営において、学力テストをどのように利用すべきか、過度な重視から生じる問題に留意する。</p>
12. テーマ	教職員制度と教員の仕事
	<p>【学習の目標】教職員の職務、研修及び専門職としての教員の仕事について、多面的に学習する。</p> <p>【学習の内容】教職員の職務、研修、教員の仕事の専門的内容について、教員の働き方改革の動向とも関連づけて学習する。</p> <p>【キーワード】教職員制度、教員の仕事、専門職者としての教師</p> <p>【学習の課題】教職員制度、教員の仕事、専門職者としての教師等の用語の意味を深く理解できるように学習する。</p> <p>【参考文献】横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、&lt;第8章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】日本の教員はなぜ多忙になるのか、その解決策も含めて考える。</p>
13. テーマ	学校評価と学校改善
	<p>【学習の目標】学校評価及び授業改善とは何か。それはなぜ必要なのかを学習する。</p> <p>【学習の内容】保護者、地域住民、外部有識者等により学校評価を行い、次年度の授業改善につなげていくシステムを学習する。</p> <p>【キーワード】学校評価、自己評価、関係者評価、第三者評価、学校改善、コミュニティ・スクール</p> <p>【学習の課題】保護者、地域住民、外部有識者等により学校評価を行い、次年度の授業改善につなげていくシステムを学習する。</p> <p>【参考文献】小川正人・勝野正章編『(改訂版) 教育行政と学校経営』放送大教育振興会、2016、&lt;第12章&gt;</p>

【学習する上での留意点】 学校評価は、学校改善のための重要な資料の一部であることに留意する。	
14. テーマ	教員評価と職能成長
<p>【学習の目標】 「新しい教員評価」は職能成長につながるのか。導入の背景や現状、再検討の課題を学習する。</p> <p>【学習の内容】 「新しい教員評価」の現状と導入の背景、「成果主義型」「能力開発型」の違いを明らかにし、教員評価の再検討の課題を学習する。</p> <p>【キーワード】 「新しい教員評価」、「成果主義型」、「能力開発型」、TALIS（国際教員指導環境調査）、ポートフォリオ、同僚評価</p> <p>【学習の課題】 「新しい教員評価」の背景を踏まえ、「成果主義型」「能力開発型」はじめ教員の人事考課の現状と課題を明確にし、説明できるようにする。</p> <p>【参考文献】 小川正人・勝野正章編『(改訂版) 教育行政と学校経営』放送大教育振興会、2016、&lt;第12章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】 民間企業と公（教育）の事業との目的や動機の違いに留意する。</p>	
15. テーマ	子どもの権利条約と学校の課題
<p>【学習の目標】 子どもの権利条約批准30年、子どもたちが安全に学校生活を送り、安心して学習するための子どもの権利の課題を学習する。</p> <p>【学習の内容】 子どもの権利条約批准30年、意見表明権、いじめ問題、学校安全など学校における子どもの権利保障の課題を明らかにする。</p> <p>【キーワード】 子どもの権利、子どもの権利条約、意見表明権、三者協議会、子どもの権利条例、いじめ問題、学校安全</p> <p>【学習の課題】 学校の校則への意見表明権、学校における子どもの権利保障の具体的課題を調べ、説明する。</p> <p>【参考文献】 横井敏郎編『教育行政学』第5版、2024、&lt;第10章&gt;</p> <p>【学習する上での留意点】 テーマは「学校」であるが、不登校の居場所やフリースクールなど、教育を受ける権利をどのように保障するか教育空間は多様であることに留意する。</p>	